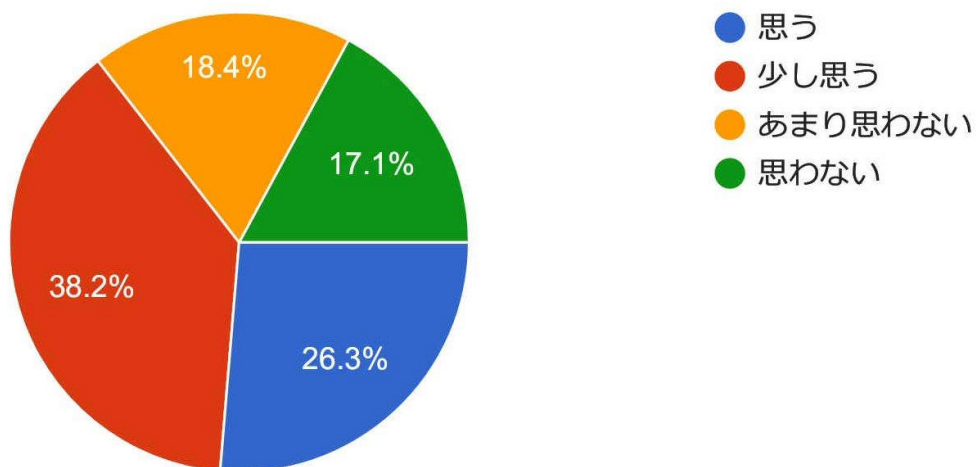


中学校教員アンケート

1. 部活動指導は学校に必要なか



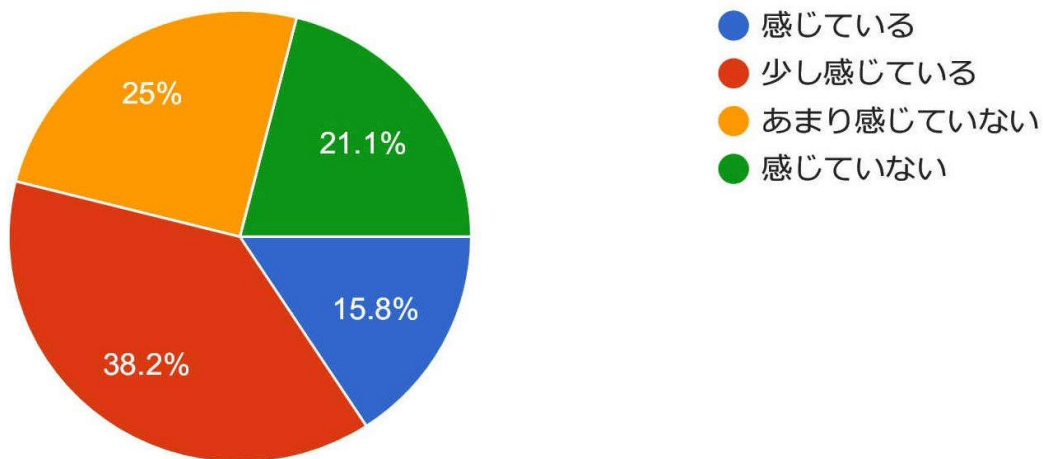
○思う 26.3% 20 名（やりがいあり 11 名、少しあり 7 名、あまりなし 1 名、なし 1 名）

○少し思う 38.2% 29 名（やりがい少しあり 17 名、あまりなし 9 名、なし 3 名）

○あまり思わない 18.4% 14 名（やりがい少しあり 3 名、あまりなし 7 名、なし 4 名）

○思わない 17.1% 13 名（やりがいあり 1 名、少しあり 2 名、あまりなし 7 名、なし 4 名）

2. 部活動にやりがいを感じているか



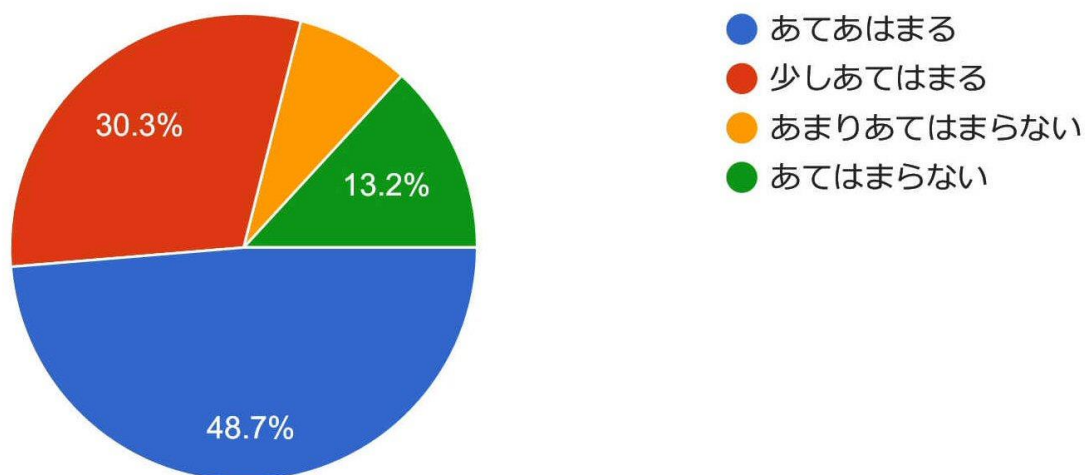
○感じている 15.8% 12 名（希望の部 12 名）

○少し感じている 38.2% 29 名（希望の部 16 名、やや希望 11 名、やや希望外 2 名）

○あまり感じていない 25% 19 名（希望の部 6 名、やや希望 7 名、やや希望外 2 名、希望外 4 名）

○感じていない 21.1% 16 名（希望の部 3 名、やや希望 5 名、やや希望外 2 名、希望外 6 名）

3. 希望する部活を担当できているか



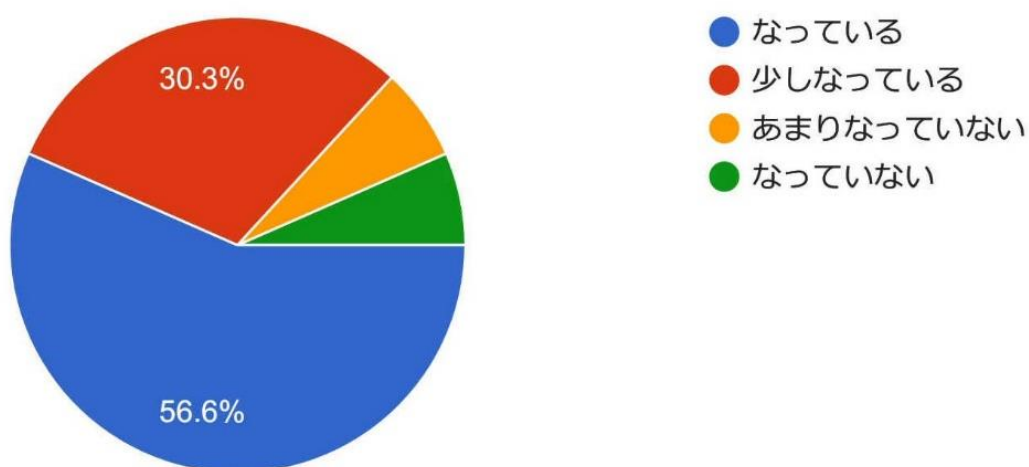
○希望の部 48.7% 37 名（やりがいあり 12 名、少しあり 16 名、あまりなし 6 名、なし 3 名）

○どちらかといえば希望の部 30.3% 23 名（やりがい少しあり 11 名、あまりなし 7 名、なし 5 名）

○どちらかといえば希望外 7.9% 6 名（やりがい少しあり 2 名、あまりなし 2 名、なし 2 名）

○希望外の部 13.2% 10 名（やりがいあまりなし 4 名、なし 6 名）

4. 平日の部活指導は負担になっているか



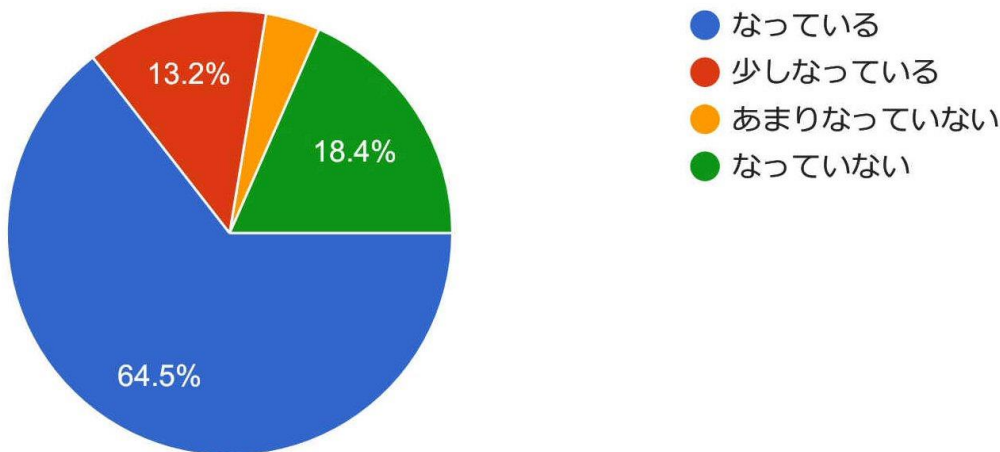
○なっている 56.6% 43 名（やりがいあり 4 名、少しあり 12 名、あまりなし 13 名、なし 14 名）

○少しなっている 30.3% 23 名（やりがいあり 3 名、少しあり 15 名、あまりなし 4 名、なし 1 名）

○あまりなっていない 6.6% 5 名（やりがいあり 2 名、少しあり 1 名、あまりなし 1 名、なし 2 名）

○なっていない 6.6% 5 名（やりがいあり 3 名、少しあり 1 名、あまりなし 1 名）

5. 休日の部活指導は負担になっているか



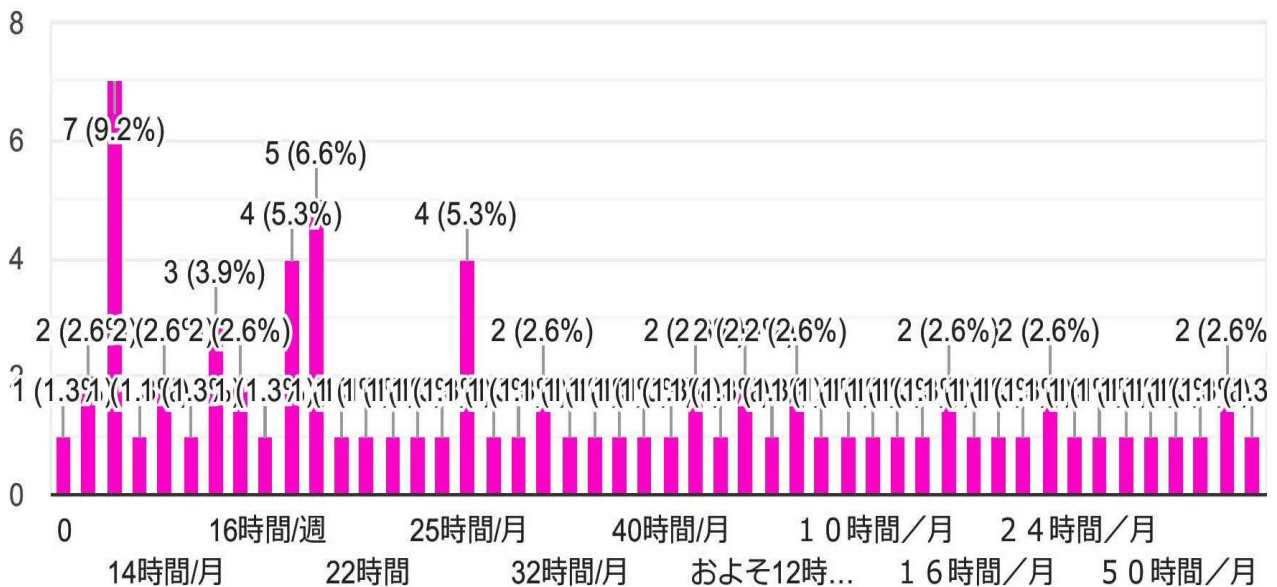
○なっている 64.5% 49名（やりがいあり4名、少しあり16名、あまりなし14名、なし15名）

○少しなっている 13.2% 10名（やりがいあり1名、少しあり6名、あまりなし3名）

○あまりなっていない 3.9%（やりがいあり1名、少しあり1名、あまりなし1名）

○なっていない 18.4%（やりがいあり6名、少しあり6名、あまりなし1名、なし1名）

6. 本年度4～6月の平日での部活指導時間（月平均）



○指導なし 3名（やりがい少しあり1名、あまりなし1名、なし1名）

（希望の部1名、どちらかといえば希望1名、希望外1名）

○10時間未満 13名（やりがい少しあり7名、あまりなし3名、なし3名）

（どちらかといえば希望の部7名、どちらかといえば希望外3名、希望外3名）

○10～19時間 27名（やりがいあり5名、少しあり11名、あまりなし6名、なし5名）

（希望の部13名、どちらかといえば希望7名、どちらかといえば希望外4名、希望外3名）

○20～29 時間 24 名（やりがいあり 5 名、少しあり 7 名、あまりなし 7 名、なし 5 名）

（希望の部 14 名、どちらかといえば希望 9 名、希望外 1 名）

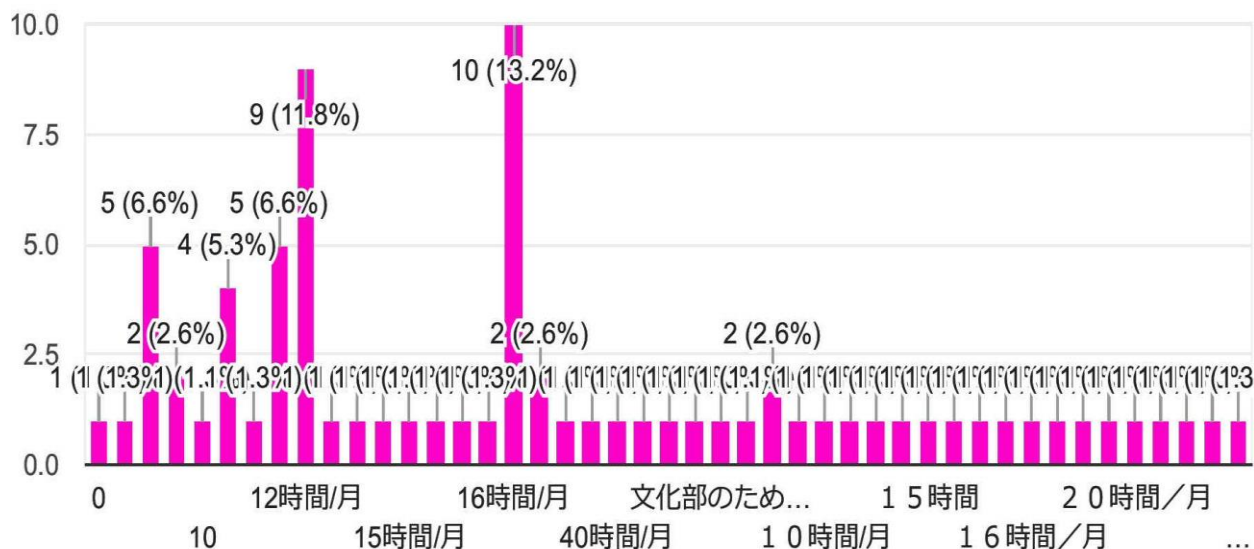
○30～39 時間 7 名（やりがいあり 2 名、少しあり 2 名、あまりなし 2 名、なし 1 名）

（希望の部 3 名、どちらかといえば希望 2 名、どちらかといえば希望外 1 名、希望外 1 名）

○40 時間以上 2 名（やりがい少しあり 1 名、なし 1 名）

（希望の部 1 名、どちらかといえば希望 1 名）

7. 本年度 4～6 月の休日での部活指導時間（月平均）



○指導なし 14 名（やりがいあり 1 名、少しあり 7 名、あまりなし 1 名、なし 5 名）

（希望の部 7 名、どちらかといえば希望 3 名、どちらかといえば希望 1 名、希望外 2 名）

○10 時間未満 3 名（やりがいあり 1 名、ややあり 1 名、あまりなし 1 名）

（希望の部 2 名、どちらかといえば希望 1 名）

○10～11 時間 7 名（やりがい少しあり 5 名、あまりなし 1 名、なし 1 名）

（希望の部 3 名、どちらかといえば希望 1 名、どちらかといえば希望外 1 名、希望外 2 名）

○12～14 時間 20 名（やりがいあり 5 名、少しあり 4 名、あまりなし 6 名、なし 5 名）

（希望の部 9 名、どちらかといえば希望 9 名、どちらかといえば希望外 2 名）

○15～18 時間 22 名（やりがいあり 3 名、少しあり 10 名、あまりなし 7 名、なし 2 名）

（希望の部 12 名、どちらかといえば希望 7 名、どちらかといえば希望外 2 名、希望外 1 名）

○19～20 時間 4 名（やりがい少しあり 1 名、あまりなし 1 名、なし 2 名）

（どちらかといえば希望の部 1 名、希望外 3 名）

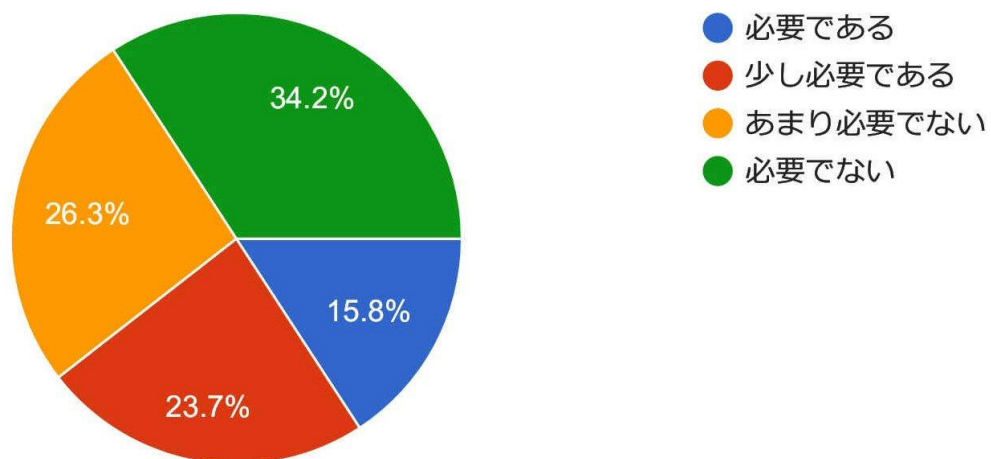
○30～32 時間 3 名（やりがいあり 2 名、あまりなし 1 名）

（希望の部 3 名）

○40 時間以上 3 名（やりがい少しあり 1 名、あまりなし 1 名、なし 1 名）

（希望の部 1 名、どちらかといえば希望 1 名、希望外 1 名）

8. 休日の部活動は必要か



○必要である 12 名

(負担を感じない 7 名、あまり感じない 1 名、少し感じる 1 名、感じる 3 名)

(やりがいあり 7 名、少しあり 5 名)

○少し必要である 18 名 (負担をあまり感じない 1 名、少し感じる 5 名、感じる 12 名)

(やりがいあり 4 名、少しあり 8 名、あまりなし 4 名、なし 2 名)

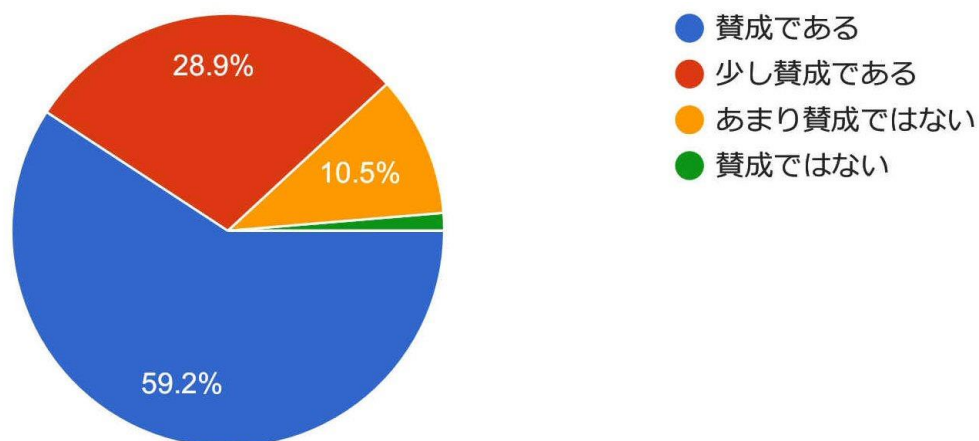
○あまり必要でない 20 名 (負担を感じない 4 名、あまり感じない 1 名、少し感じる 3 名、感じる 12 名)

(やりがい少しあり 9 名、あまりなし 10 名、なし 1 名)

○必要でない 26 名 (負担を感じない 3 名、少し感じる 1 名、感じる 22 名)

(やりがいあり 1 名、少しあり 7 名、あまりなし 5 名、なし 13 名)

9. 休日の部活動が学校ではなく、地域の団体が運営することについて賛成か



○賛成である 45 名 (休日必要 2 名、少し必要 8 名、あまり必要でない 11 名、不要 24 名)

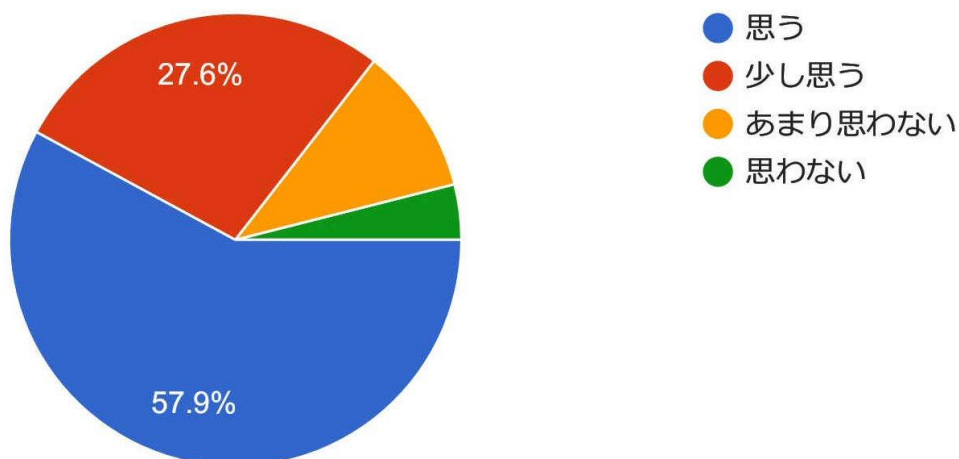
(やりがいあり 2 名、少しあり 15 名、あまりなし 13 名、なし 15 名)

○少し賛成である 22 名 (休日必要 4 名、少し必要 8 名、あまり必要でない 9 名、不要 1 名)

(やりがいあり 5 名)

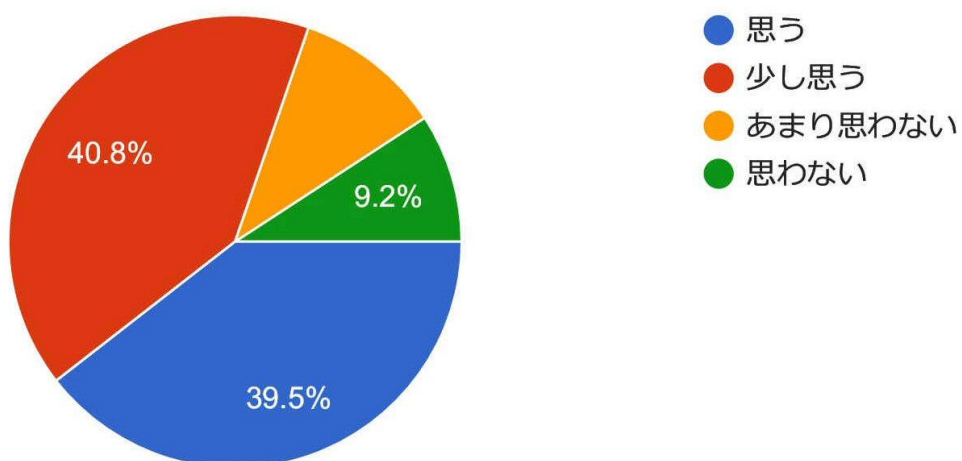
- あまり賛成ではない 8 名（休日必要 5 名、少し必要 2 名、不要 1 名
（やりがいあり 4 名、ややあり 3 名、なし 1 名）
- 賛成ではない 1 名（休日必要 1 名）（やりがいあり 1 名）

1 0．休日の部活動ができるだけ早く地域移行になってほしいと思うか



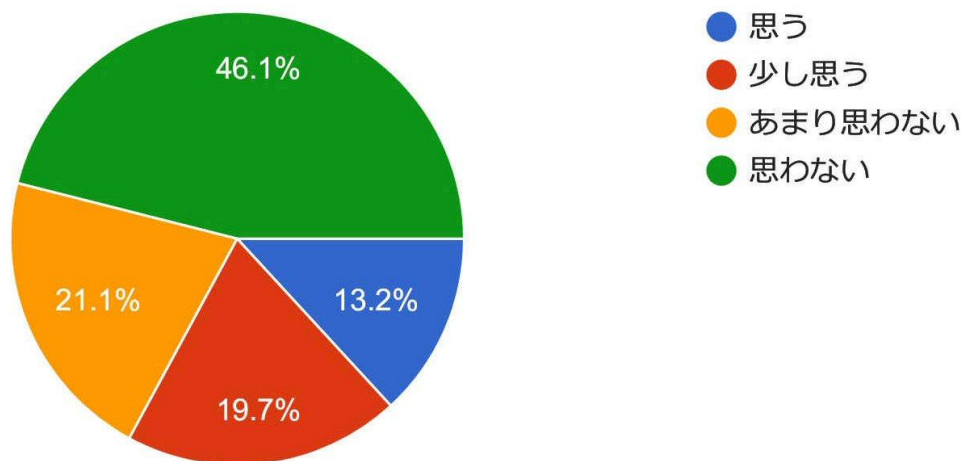
- 思う 44 名（やりがいあり 1 名、少しあり 15 名、あまりなし 13 名、なし 15 名）
- 少し思う 21 名（やりがいあり 4 名、少しあり 11 名、あまりなし 6 名）
- あまり思わない 8 名（やりがいあり 4 名、少しあり 3 名、なし 1 名）
- 思わない 3 名（やりがいあり 3 名）

1 1．現段階で休日の部活動を地域に移行することは難しいと思うか



- 思う 30 名（できるだけ早く移行をと思う 12 名、少し思う 8 名、あまり思わない 8 名、思わない 2 名）
- 少し思う 31 名（できるだけ早く移行をと思う 19 名、少し思う 11 名、思わない 1 名）
- あまり思わない 8 名（できるだけ早く移行をと思う 6 名、少し思う 2 名）
- 思わない 7 名（できるだけ早く移行をと思う 7 名）

1 2. 休日の部活動が地域移行になった場合、指導者として兼職兼業で関わっても良いと思うか



○思う 10 名（休日が負担でない 6 名、あまり負担でない 1 名、少し負担 1 名、負担 2 名）

（休日の活動は必要 6 名、少し必要 1 名、あまり必要でない 2 名、不要 1 名）

（やりがいあり 6 名、少しあり 1 名、あまりなし 2 名、なし 1 名）

○少し思う 15 名（休日が負担でない 2 名、あまり負担でない 2 名、少し負担 4 名、負担 7 名）

（休日の活動は必要 3 名、少し必要 7 名、あまり必要でない 2 名、不要 3 名）

（やりがいあり 4 名、少しあり 9 名、あまりなし 2 名）

○あまり思わない 16 名（休日が負担でない 2 名、少し負担 1 名、負担 13 名）

（休日の活動は必要 1 名、少し必要 6 名、あまり必要でない 9 名）

（やりがいあり 1 名、少しあり 9 名、あまりなし 5 名、なし 1 名）

○思わない 35 名（休日が負担でない 4 名、少し負担 4 名、負担 27 名）

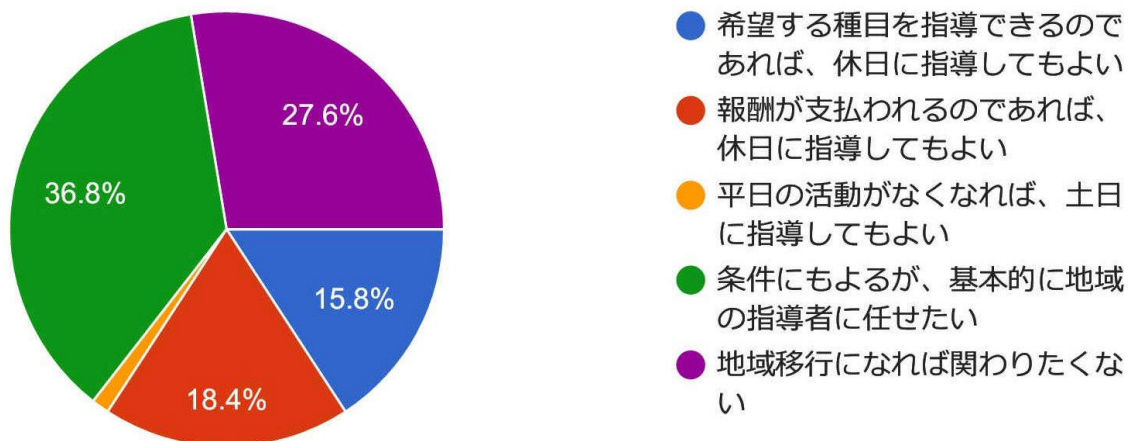
（休日の活動は必要 2 名、少し必要 4 名、あまり必要でない 7 名、不要 22 名）

（やりがいあり 1 名、少しあり 10 名、あまりなし 10 名、なし 14 名）

1 3. 前問で「思う・少し思う」と答えた人で、どの種目を希望するか



1 4. 今後地域移行になった場合、休日の部活指導について近い考え方はどれか



○希望する種目を指導できるのであれば休日に指導してもよい 12 名

(やりがいあり 6 名、少しあり 3 名、あまりなし 3 名)

(休日の負担は感じない 4 名、あまり感じない 2 名、やや感じる 3 名、感じる 3 名)

○報酬が支払われるのなら休日に指導してもよい 14 名

(やりがいあり 4 名、少しあり 7 名、あまりなし 2 名、なし 1 名)

(休日の負担は感じない 4 名、あまり感じない 1 名、やや感じる 2 名、感じる 7 名)

○平日の活動がなくなれば休日に指導してもよい 1 名

(やりがい少しあり 1 名) (休日の部活動は負担を感じる 1 名)

○条件にもよるが、基本的に地域の指導者に任せたい 28 名

(やりがいあり 1 名、少しあり 12 名、あまりなし 9 名、なし 6 名)

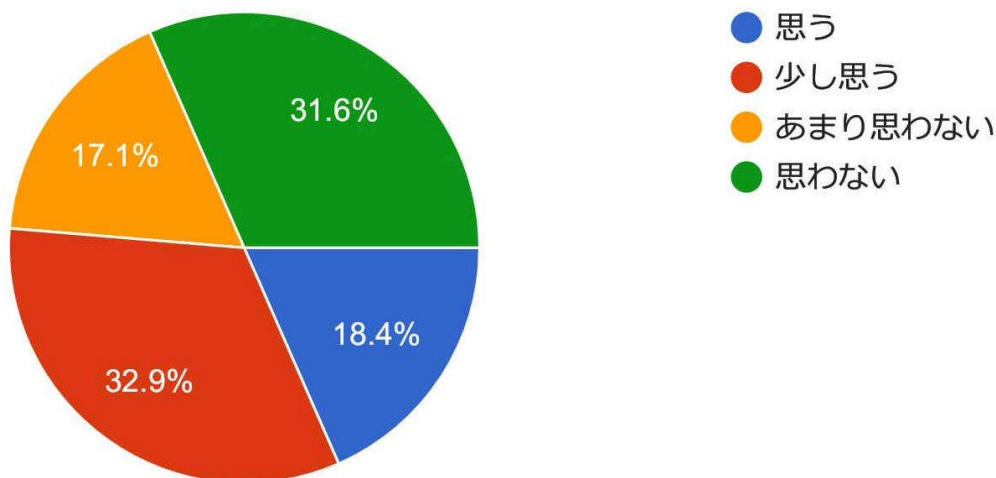
(休日の負担は感じない 2 名、少し感じる 2 名、感じる 22 名)

○地域移行になれば関わりたくない 21 名

(やりがいあり 1 名、少しあり 6 名、あまりなし 5 名、なし 9 名)

(休日の負担は感じない 2 名、少し感じる 3 名、感じる 16 名)

1 5. 休日の部活動が地域移行できなかった場合、休日に顧問として指導にあたるのは仕方ないか



○思う 14 名（休日の活動は必要 8 名、少しは必要 4 名、不要 2 名）

（休日の負担は感じない 4 名、あまり感じない 1 名、少し感じる 3 名、感じる 6 名）

○少し思う 25 名（休日の活動は必要 2 名、少しは必要 11 名、あまり必要でない 8 名、不要 4 名）

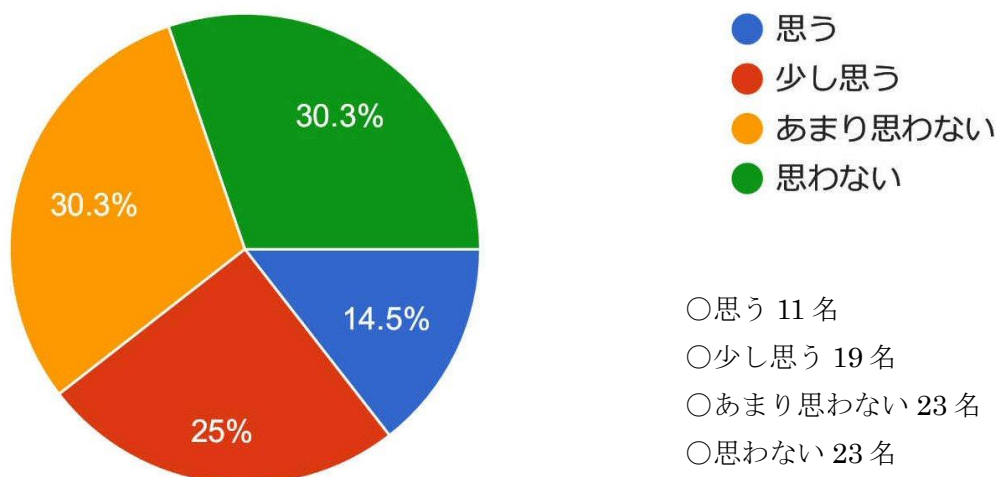
（休日の負担は感じない 1 名、あまり感じない 1 名、少し感じる 6 名、感じる 17 名）

○あまり思わない 13 名（休日の活動は必要 1 名、少しは必要 1 名、あまり必要でない 4 名、不要 18 名）

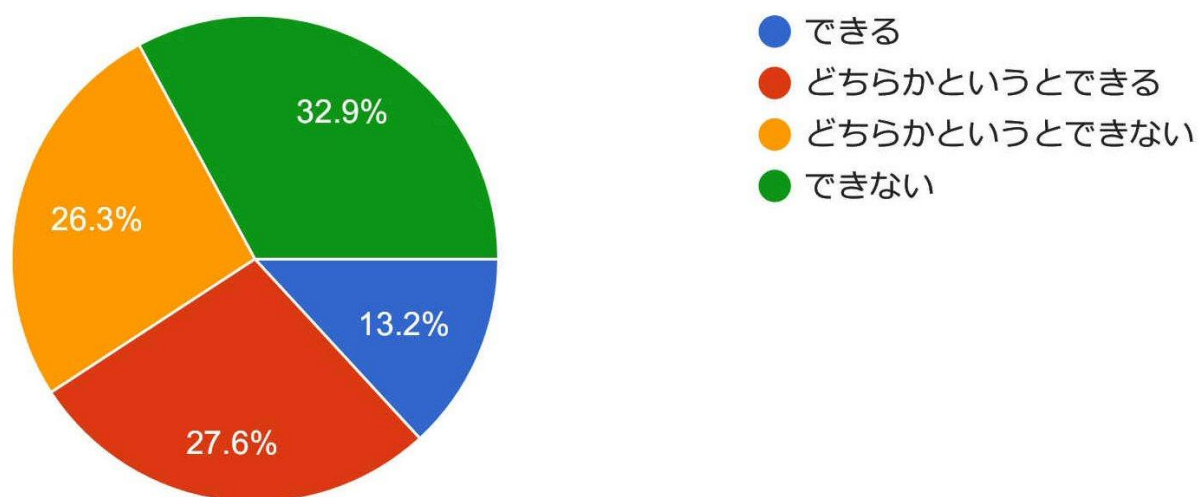
（休日の負担は感じない 4 名、少し感じる 1 名、感じる 4 名）

○思わない 24 名（休日の活動は必要 5 名、あまり必要でない 1 名、不要 18 名）

1 6. 休日の部活動が地域移行できず、体制や条件が現状のままなら休日の指導にあたってもよい



1 7. 今後、合同チームや拠点校チームとなった場合、他校の生徒も指導できるか



○できる 10 名（やりがいあり 4 名、少しあり 1 名、あまりなし 4 名、なし 1 名）

（希望の部 6 名、どちらかといえと希望 1 名、どちらかといえと希望外 1 名、希望外 2 名）

○どちらかといえとできる 21 名（やりがいあり 6 名、少しあり 7 名、あまりなし 6 名、なし 2 名）

（希望の部 13 名、どちらかといえと希望 5 名、希望外 1 名）

○どちらかといえどできない 20 名（やりがい少しあり 13 名、あまりなし 5 名、なし 2 名）

（希望の部 7 名、どちらかといえど希望 10 名、どちらかといえど希望外 1 名、希望外 2 名）

○できない 25 名（やりがいあり 2 名、少しあり 8 名、あまりなし 4 名、なし 11 名）

（希望の部 11 名、どちらかといえど希望 7 名、どちらかといえど希望外 4 名、希望外 3 名）

18. 地域移行についての意見（自由記述）

○肯定的な意見

・早く地域移行すべきだと思います。教員採用試験の志望者が減少しているように、早く働き方改革を進めないと、公教育は崩壊すると思います。給特法を廃止して、時間外（休日を含む）の部活動の指導に残業代を支払うか、部活動を地域移行して、教員が兼職兼業で指導員として関わるようにするのが当然だと思います。

・早く地域移行してほしいです。

・ぜひとも実現してもらえようをお願いしたい。

・部活動はまったくやりたくない。若いときは良かったが、年をとって体力的にも精神的にも時間的にも無理があり、苦痛である。しかし、自分がやらないと生徒が困るから仕方なくやっている。このようなアンケートではいつも直接指導の時間ばかり尋ねられるが、実際は指導以外の事務や会議、大会出場メンバーを決めるための調整、練習計画、引率計画、会計、県の役員など、裏の仕事も非常に多い。学校は授業がメインの活動であるはずなのに、生徒指導や保護者対応、地域の方からの苦情の対応など、授業以外の業務が非常に多い。それに加えて部活動もあるのに、やりたくない教員にとっては負担とストレスでしかない。部活動が辛いので、来年には教員をやめようと思っている。部活がなければやめない。一刻も早く地域へ移行することを希望する。

・市長は、選任されたとき、部活動は地域移行にすると断言していた。公約は、実行すべき。基本、課外活動は受益者負担ですべきで、生徒や保護者が何を選ぶかだと思う。無償で指導してもらえるとこの概念は、どこの国にもない。中学校の教員の業務の負担は、部活指導の占める割合が多い。部活指導をなくし、指導したい教員は、社会体育指導者として、別の立場で指導するのが良い。

・去年今年とソフトテニスのブロック長まで経験しましたが、やはり部活動は運営面で教員が担うことに無理があると思います。もちろん、生徒らの成長を肌で感じ、心から喜べる「部活動」自体が有意義であることには否定の余地はありません。しかし、教員の負担がやはり大きすぎます。部活動とは、土日に練習を見る、大会の引率をする、という校内のことだけに留まりません。その大会を開催するにあたり、どれだけ裏で役員が動いているか。どれだけ土日の時間が削られているか。しかも、給与等の何にも反映されないのにです。部活動は、労働の観点でいうと完全に破損しています。一刻も早い地域移行を望みます。簡単にいかないことは重々承知ですが、、、。

・担当の市教委の先生は本当に大変だと思いますが応援してます！

・平日もふくめて、地域移行すべきである。

・早く地域移行になってほしいし、地域移行したら教員は一切携わらないのが理想。

・やらねばならないことが増え続けている学校の業務の中で部活指導は大きな負担になっています。初任者が休職、辞職する要因の 1 つにもなっており、早急に改善が必要であると思います。地域移行には様々な課題があることは公然の事実ではありますが、迅速な対応をお願いしたいと思っています。

・地域移行ありきで進めていってほしい。やりたい教員は、それぞれの居住地域で有志として活動にあたるのが適切であると思う。

・地域移行もそうですが、外部指導者への報酬の制度を作ってください。外部コーチを見つけていても栗東市の制度が整っていないので活用できない。湖南市は実施されているので、早急にお願いしたい。

・教員の負担を考えればできるだけ早く地域移行してほしいが、お任せする指導者との綿密な連携が必要だと思われる。

・運動部は特にその競技を経験している先生や指導経験のある先生が担当した方が教員や生徒双方が意味のある活動になると思う。指導したことのない競技や内容のものを一から指導すること自体が負担になると思う。そもそも部活動の指導時間が次の日の授業準備や教員自身の休日の時間を大幅に減らすことに繋がっている面はとても大きいと思う。分けられるのであれば部活は地域移行していく方が教員の仕事の充実にも繋がると思うので検討してほしい。

・部活動は、課外活動ということで自由となっているが、しなければいけないと義務付けられており、否応なくやらされていても管理職からは「あなたは好きでやっているんでしょ」とみなされ、あしらわれることに非常に不快感を持ったことを今でも覚えています。教科指導に集中するためにも地域移行に賛成します。少しでも学校で行われる行事や業務を軽減されることを希望します。

○地域移行には賛成だが課題や不安もあるとの意見

・学校単位で地域移行の指示は責任が取れず、改革が進まないのも、市または県全体が一斉に地域移行の具体的な期日を示して頂きたいです。

・地域移行に賛成だが時間がかかるのも理解できます。

・地域に指導できる人がいないとなると、移行することは難しいのかなと思っています。また、地域移行ができたときも、指導したい教員はこれまで通り、部活動指導をしても良いと思います。

・どれだけ連携できるかが要だと思いますが。現実的にはいろいろ難しい側面がある。(生徒対応でなく保護者対応もあるから)

・地域移行になれば、業務量の負担が大きく削られると思いますが、現実的ではないと思います。大会の運営や、保護者との連携を外部に任せるのは厳しいと思います。教員の負担軽減が目的なのであれば、部活動よりも、研修などや会議を精選して欲しい。

・部活動を地域移行するのであれば、窓口は地域一本で行ってもらいたい。学校の体育館を利用する場合も、地域の担当がすべての責任をもって管理してほしい。

・指導者がすべての部活でみつかるとは思えないし、見つかったとしてもどういうやり方で進めるのか、取り決めるのが難しそうである。見つかるのが難しいと思う。また、見つかったとしてもどういう立ち位置で指導するのかがはっきりしているのは難しいのではないかと思います。

・今の状況では難しいのではないかと？

・地域移行の話は理想と現実ギャップがあり、乱暴すぎると思います。地域に施設、団体、指導者があり、運営していく上での予算が市町、県からつくのであれば話は別ですが。

・道徳の教科化の時のように、現職の教員に対してしっかり説明されていないまま実施されると、また「こんなはずじゃなかった」となると思う。するならちゃんと説明してほしいし、することになったらのならばどうするのかきっちりと説明してほしい。

・生徒のためなら部活指導があっても仕方ないと思いますが、地域移行を含めて状況を改善できるのであれば是非お願いしたいです。

・市内や校内で横並びでないとだめだという発想は捨てましょう。できるところから進めていけばいいと思います。地域移行について考える前に部活動のあり方についてもっと考えないといけないのではないかと考えています。子どもたちにもっと主体性を持たせるようにして、目指すもの、そこへたどり着くまでの方法などを考えさせるような取り組みにしないといけないと思います。そのときにチーム一律でこうしようというのではなく、多様な活動を認めていくことも必要だと思います。そこで子どもたちからの要求があったり、こちらが見ていてどうしても必要だと思う場面があったりしたときには、できる最大限のサポートをしていけばいいのではないかと考えています。今回はこれぐらいにしておきます。

・行政に地域移行について本気に取り組む必要がある。途中経過が現場に知らされていない。地域移行プロジェクトチーム等が立ち上げられているのでしょうか？

・休日の部活動を完全に地域の指導者でまかなうことができ、勤務時間が減るならありがたい。しかし、活動中に発生したいじめなどのトラブルへの対応などのトラブルが増加するなどの不安がある。

○地域移行に否定的な意見

・部活動がしたい人もいるので、放課後の働き方には部活指導をする人は校務分掌を軽減して部活動に思いっきり打ち込み、部活指導をしない人は、校務分掌を重くするなど働き方をカスタマイズするなどの工夫が出来ると思う。それなら、納得のいく働き方ができる気がする。今後も部活指導をしたいと思っている人と。

・部活指導にやりがいを感じているので、地域移行後も指導に携わりたい。子ども同士の関わりの中でのトラブルの指導など、地域高で外部の方にすべて任せられるのか疑問に感じる。

・地域に任せることも、何かしら問題は出てくると思います。

・教員の数が少ないのが問題であり、教員の数が増えれば仕事を分担でき、部活の指導も分担でき、地域移行などせずとも、部活を維持できると考えます。経済的にしんどい子どもたちも多く、学校で部活があるから体育文化活動に触れることができる子もいっぱいいます。また、トップ選手が目立つかもしれませんが、初心者も多く、クラブチームでは相手にされない、部活で居場所を見つけられる子が育っていくのが部活の存在意義だと思います。あと、部活がなくなり顧問がいなくなると、専門委員もいなくなり、誰が大会を運営するのでしょうか？中体連の大会はなくなりますが、子どもらは練習の成果をどこで発揮するのでしょうか？

・受け皿のない中で移行は難しいと思う。平日の指導者（学校職員）と休日の指導者（地域の方）がうまく同じ目線で指導ができとは思えない。放課後の部活動がなかったら仕事ができるのに、と思うことが多い。部活動にやりがいがないとは思わないが、超過勤務を減らしていくためには、学校での部活を教員がかかわらない方式に変えることが望ましいと考える。

○部活自体をなくすべきという意見

・地域移行ではなく、廃止が適切。教員がいない場で起こったトラブルを、教員が聞き取り・解決させなければならなくなる状況が予想される。これが一番最悪。外部指導員に報酬を支払うなら、トラブル

解決まで任せる前提にする。それなら賛成。

- ・土日の部活動は完全に廃止して、部活動をしたい人は地域のクラブチームでしてほしい。また、大会の運営業務も無くしてほしい。

○その他

- ・どのくらいまで進んでいるのか情報がない

- ・部活動があるせいで成績処理や学校行事の準備、気になる生徒への対応など、本来の校務が慢性的に滞っている。結果、本来の校務は休日や持ち帰りを含めた気温無時間外に手掛けざるを得ない状況が続いている。異常が日常になっている。教員の人権が守られていない、そんな現状を変える特効薬こそ、部活動の地域移行である。ただし、これまで教員が無償で部活動顧問を担ってきたのだから、地域移行も無償で実施すべき。無償で募集し、期限内に担い手が現れないなら、当該部活動を廃止するのが筋。今年度内に募集期限を設ければ、来年度から地域移行または廃部とする。

- ・いま伝えられている「部活の地域移行」とは部活の延命策でしかないと思う。地域移行の狙いがブレブレでいったい誰のための地域移行なのか、その主体者が発信者によって変わるので議論がかみ合わないと感じる。教職員の勤務体系の見直しのためなら時間外に活動時間が及ぶ部活動は一切やめるべき。子どものためというなら、学校での活動は勤務時間内にしてはっきりと活動を保障すべき。チャンピオンスポーツとしてなら、100%社会体育（教育）が担い、部活動とは一切切り離すべき。学校教育に頼るようなやり方では強い選手はたまにしか出てこない。